

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第174号（4.11.22） 誰もが安心して利用できる保育所運営を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の運営が適切でないとの通報があった場合、速やかに特別監査を行い、再発防止に努めること。</li> <li>2. 神戸市の保育水準を守るため、公立保育所をこれ以上減らさないこと。</li> <li>3. 11月4日の報道事案に対する神戸市の処分などの影響で、子供・保護者・職員に不利益がないようにすること。</li> <li>4. 神戸市が11月4日の報道について、当該の保護者や職員に事実を説明すること。</li> <li>5. 適切な保育が行われるよう、監査体制を充実させること。</li> <li>6. 小規模保育所（事業所）を含め、保育士不足を解消すること。</li> </ol>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 神戸市保育運動連絡会 会長 朝倉 ユミ</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

2022年11月22日

神戸市会議長

様

神戸市保育運動連絡会 朝倉ユキ



神戸市中央区

電話

## だれもが安心して利用できる保育所運営を求める陳情書

(陳情趣旨)

私たち神戸市保育運動連絡会は、2004年に公立保育所の民営化に反対して、すべてのこども達の健やかな成長と発達を願って立ち上げました。私たちは、児童福祉法24条1項の認可保育所の新增設での待機児童解消を求めてきました。

2015年から子ども・子育て支援新制度がスタートしましたが、神戸市では1年前倒しで2014年から小規模保育所をスタートさせ、待機児童を解消しようとしてきました。今年4月1日付の待機児童は「ゼロ」になったと発表されていますが、希望しない小規模保育所で我慢している子どもや保護者、3歳児からの移行先が見つからずやむなく認可外施設を利用している家庭はまだたくさんいます。

新制度スタート以降、様々な施設が増え、私たちは国や市からの補助金や給付金が適切に使われているのか疑問や不安を持ち続けています。私たちの会に現場で働く職員や子育てをされている保護者の方から声が届いたときには、その都度、神戸市にお伝えしています。

昨年8月に、中央区の「Ohana 保育園」で不正受給が発覚した際、私たちは再発防止を求めて9月6日に要望書を提出しました。しかし今月4日には、「一般社団法人『ミクスケア』が運営する2ヶ所の保育所で1300万円の不正受給」があったことが大きくニュースで取り上げられ、残念です。「また、神戸市か…」という思いと同時に、報道によると昨年11月の通報にも関わらず、今年12月からの処分では、対応が遅すぎるのではないかと疑問でなりません。

改めて、行政による監査は、子どもの命と安全を守り、あずける保護者や働く職員が安心して過ごせ、適切な保育を行うためにも不可欠な仕組みであることを確認し、神戸市が責任をもって保育所運営を行ってくださることを願い、以下のことを陳情します。

(陳情事項) ~~「保育所の適切な運営が実現しない」との~~

- ① ~~通報~~があった場合、すみやかに特別監査を行い、再発防止につとめて下さい。
- ② 神戸市の保育水準を守るため、公立保育所をこれ以上減らさないで下さい。
- ③ 11月4日報道事案により、子ども・保護者・職員に不利益がないようにして下さい。
- ④ 11月4日報道事案について、当該の保護者や職員に事実を説明して下さい。
- ⑤ 適切な保育が行われるよう、監査体制を充実させて下さい。
- ⑥ 小規模保育所(事業所)を含め、保育士不足を解消して下さい。

「また、神戸市か」

→の報道事案=対する神戸市の対応などの影響で